

維持員様感謝の集いについて

Gathering of Gratitude to Honor Supporting Members

サービス委員会委員長 永妻忠夫

1. はじめに

維持員とは、「本会の行う事業を援助するため会費を納める会社などの団体または個人」と定められている会員の皆様です。他学会では賛助会員と呼ばれているものとほぼ同じ位置付けにありますが、この名称の背景には、本会の歴史的な経緯があります。本会は1917年（大正6年）に「電信電話学会」として発足し、1937年（昭和12年）に「社団法人 電気通信学会」と改称されました。その3年後の1940年（昭和15年）に、現在の維持員の前身である「事業維持員」という制度が創設されています。

2020年、維持員制度は80年を迎えました。そこでこれを記念し、80年の長きにわたり御援助頂きました維持員の皆様（3機関）に対して、更に10年ごとの多年表彰を設定し、それぞれ節目を迎える機関の皆様に対して感謝の意を表すため、新たに「維持員様感謝の集い」を企画することに致しました。

今年度の催しは、2020年11月20日に、機械振興会館の会場とオンラインのハイブリットで執り行われまし

た（図1）。また、募金活動への御協力等、本会の事業に御貢献頂いている皆様に対して感謝状を贈呈致しました。

2. 挨拶と学会紹介

2.1 会長の挨拶

学会を代表して笹瀬会長から、本集いの開催の趣旨について詳しい説明がありました（図2）。また会長は、2017年に企画・実施された創立100周年記念事業の実行委員長であったことから、そのときに維持員様から頂いた御提言に基づき、現在、本会が鋭意取り組んでいる活動や事業の紹介がありました。特に、本会ホームページの刷新、充実化とともに、「会長の部屋」を通して、本会から社会に向けたメッセージを積極的に発信していることが述べられました。

2.2 事業の紹介

大橋総務理事から、本会の概要（歴史、活動基本方針、組織構成、会員数の推移等）と事業（会誌、選奨、



図1 司会の寺田総務理事（機械振興会館）

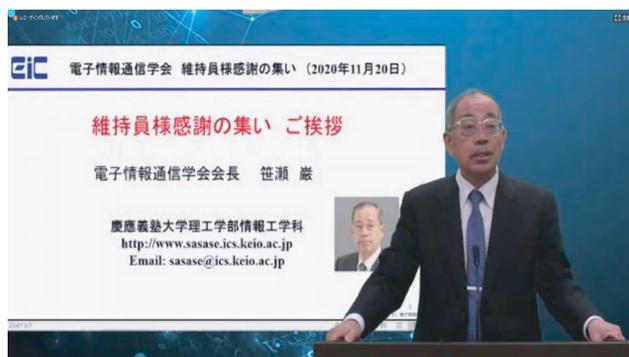


図2 笹瀬会長（機械振興会館）

論文誌，大会，研究会，国際会議，支部，国際化，標準化等）についての紹介がありました。また，新たに取り組んでいるサービスやプログラムとして，IEICE Digital Library，IEICE Proceedings Series，電気・電子系高度技術者育成プログラム，ジュニア会員制度等の紹介がされました（図3）。

3. 特別講演

特別講演として，日本電信電話株式会社常務執行役員川添雄彦様から「限界打破のイノベーション IOWN 構想について」と題して，これまでの情報通信システムを変革し，現状の ICT の限界を超える新たな情報通信基盤の実現を目指す IOWN（Innovative Optical and Wireless Network）について御講演頂きました（図4）。従来まで伝送が主役だった光技術を，情報処理，コンピューティングにまで活用することにより，ネットワークの性能（電力効率，伝送速度，遅延等）に革新を起こすとともに，移動体通信と固定通信を融合した新しいシステムの実現をもたらすものです。最後に，宇宙空間にデータセンタを作る，IOWN スペースコンピューティングについての紹介があり，ICT の未来に向けたエキサイティングな御講演でした。

4. 維持員サービスの紹介

本会の様々な会員サービスの向上を目指しているサー

ビス委員会を代表して，同委員長（副会長）の永妻から，維持員様に訴求するサービスについて紹介をしました（図5）。特に，これから新たに始まる維持員様向けのサービスとして，Webinar サービスと，知識の森・広告サービスがあります。

5. 表彰式

5.1 多年表彰

多年表彰は，維持員になって頂いてから10年ごとに本会からの感謝の意を表するものです（図6）。今年度の対象機関は，以下の11機関です。

- ① 80年表彰 日本電気株式会社殿
- ② 80年表彰 三菱電機株式会社殿
- ③ 80年表彰 株式会社明電舎殿
- ④ 70年表彰 シーキューブ株式会社殿
- ⑤ 70年表彰 ソニー株式会社殿
- ⑥ 60年表彰 東日本旅客鉄道株式会社殿
- ⑦ 40年表彰 株式会社テレビ朝日殿
- ⑧ 40年表彰 NEC ソリューションイノベータ株式会社殿
- ⑨ 40年表彰 日立金属株式会社殿
- ⑩ 30年表彰 株式会社豊田中央研究所殿
- ⑪ 20年表彰 西日本電信電話株式会社殿

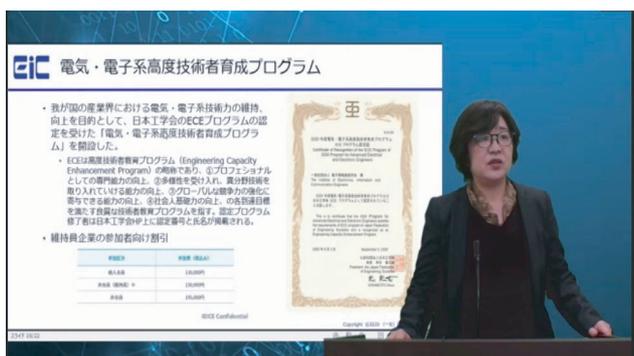


図3 大橋総務理事による学会事業の紹介（機械振興会館）



図4 川添様による御講演



図5 永妻副会長による維持員様向けサービスの紹介

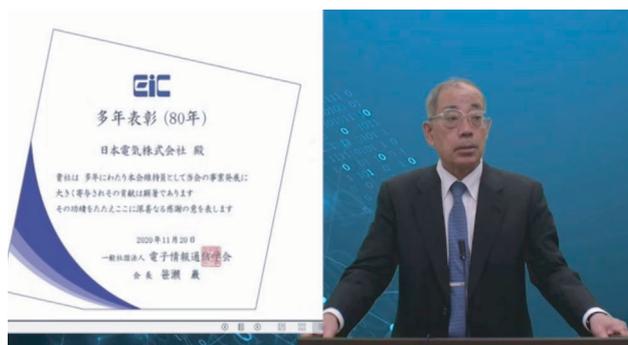


図6 多年表彰楯（日本電気殿の場合）



図7 日本電気 菅原様



図8 三菱電機 浅井様



図9 明電舎 山本様

表彰された機関を代表して、80年表彰の日本電気 菅原祐人様、三菱電機 浅井光太郎様、明電舎 山本陽様から御挨拶を頂きました（図7～9）。

5.2 募金感謝

募金活動については、従来の「子供の科学教室」に加え、2019年度から「学会活動全般」の募金活動を開始致しました。2019年度に御寄付頂いた、以下の6機関に対して感謝状を贈呈致しました（図10）。

- ① 子供の科学教室活動 株式会社コロナ社殿
- ② 子供の科学教室活動 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社殿
- ③ 子供の科学教室活動 大東通信機株式会社殿

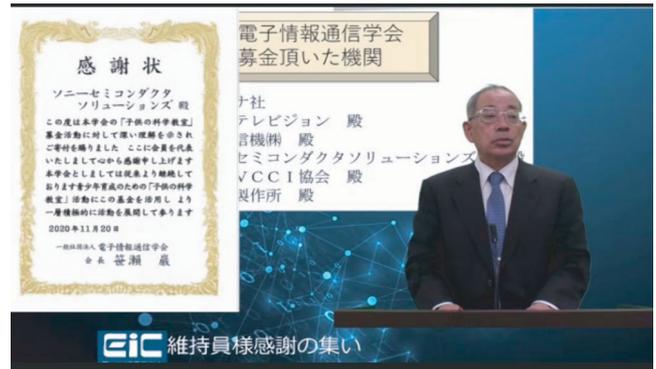


図10 募金感謝状（ソニーセミコンダクタソリューションズ殿の場合）



図11 石田次期会長

- ④ 子供の科学教室活動 株式会社フジテレビジョン殿
- ⑤ 学会活動全般 （一財）VCCI協会殿
- ⑥ 学会活動全般 株式会社京三製作所殿

6. おわりに

石田次期会長から、本集いに御出席頂きました維持員の皆様（36機関がオンラインで御出席）、特別講演を頂きました川添様、御挨拶を頂きました菅原様、浅井様、山本様に対して感謝の辞が述べられました（図11）。

また、御講演や御挨拶を頂いた皆様から「社会課題の解決」という言葉が何度も出てきたことが印象的であったこと、そして、本会が大学と産業界（企業会員）をつなぐ場であり、今後も本会が、ICT分野における産学連携の中心的役割を果たしていきたいとの決意が述べられました。